

会 議 録 審査内容

1	日 時	平成20年12月16日 開会 9時57分 閉会 10時2分
2	場 所	幕別町役場 5階会議室
3	出席委員	6名 委員長 野原恵子 副委員長 堀川貴庸 委 員 谷口和弥 乾邦廣 大野和政 助川順一 議長 古川稔
4	傍聴	千葉幹雄
5	事 務 局	局長 堂前芳昭 課長 仲上雄治 係長 国安弘昭
6	審査事件	陳情第14号 「ミニマムアクセス米の輸入停止と国産米で供給を図ることを求める意見書」の提出を求める陳情書 閉会中の所管事務調査項目の決定について
7	審査結果	別紙

委員長 野原恵子

◇ 審 査 内 容

(9:57 開会)

○委員長（野原恵子） ただいまより、産業建設常任委員会を開会いたします。

本日の議案につきましては、お手元に配布のとおりでございます。

これより議事に入ります。

それでは、本委員会に付託されました、陳情第14号、ミニマムアクセス米の輸入停止と国産米で供給を図ることを求める意見書の提出を求める陳情書を議題と致します。

本、陳情について、皆様のご意見をお聞きしたいと思いますが、ご意見はありませんか。

(なしの声あり)

○委員長（野原恵子） 無いようですので、これで意見を終了いたします。

次に、討論を行います。まず、反対の討論はございませんでしょうか。

(なしの声あり)

○委員長（野原恵子） 賛成の討論はありますか。

谷口委員。

○委員（谷口和弥） 今回のこの意見書ですけれども、二つの事が書かれているわけです。

日本の国内の経済活動や住民生活を脅かす、それから日本が大量に輸入することで、世界中に飢餓がおよぶ、この二点なわけです。

日本に減反政策の中で米を作る余地がまだあるということや、それから、今回この減反政策はWTOの輸入規制によるものなんですけれども、この輸入が義務ではなくて、そういった機会を作るといって、そういう約束でしかないということは、政府の答弁からも明らかで、自分の国の食糧は自分の国で守る、そのことの大前提があるわけですから、この意見書について、是非採択すべきと、賛成の意見を述べさせていただきたいというふうに思います。

○委員長（野原恵子） 今、賛成の立場の賛成討論がありました。

ほかに討論はありますか。

無ければこれで討論を終わります。

採決をいたします。

本陳情について、採択とすることに、ご異議ありますか。

(異議なしの声あり)

○委員長（野原恵子） 異議がないものと認めます。

したがって、本陳情は採択とすることに決定いたしました。

なお、報告書と意見書案については、委員長と副委員長に一任願いたいと思いますが、宜しいでしょうか。

(異議なしの声あり)

○委員長（野原恵子） それでは、そのようにさせていただきます。

○委員長（野原恵子） 次に、閉会中の継続調査の申し出についてを議題と致します。

次の所管事務調査の項目につきましては皆様のお手元に、今まで調査致しましたものの一覧表があります。

これに加えて、皆様からどのような所管事務調査が希望であるかどうかお聞きし

たいと思いますがいかがでしょうか。

堀川委員。

○委員（堀川貴庸） あと二つ残っておりますので、土地改良に関する事項と農地行政に関する事項を調査したいというふうに思うのと、改めてもう一度、企業誘致に関する事項もできれば加えていただいて、三つやっていただけたらと思うのですが、いかがでしょうか。

○委員長（野原恵子） 皆さんそれでよろしいでしょうか。

（はいの声あり）

○委員長（野原恵子） 調査の時期についても、委員長と副委員長に一任していただきたいと思いますが、宜しいでしょうか。

（異議なしの声あり）

○委員長（野原恵子） それでは、そのようにさせていただきます。

これで、本日の案件は終了いたしました。

これをもって、本日の委員会を閉会いたします。

（10：02 閉会）